

パブリックコメント回答

この度、計画の策定に当たり、市民の皆様からのご意見を募集いたしました。その結果、5名の方から44件のご意見をいただき、お寄せいただいた御意見の趣旨及び本市の考え方を次のとおり公表いたします。

◆募集期間 令和元年11月29日(金)～令和元年12月26日(木)

番号	項目	意見	考え方
1	総合計画の周知について	内容のしっかりした総合計画だと思います。自助・共助とありますが総合計画の存在や内容を知る市民は少ないのではないのでしょうか。総合計画がもっと市民に周知されて、臼杵市全体でよい町をつくっていく機運が醸成されればと思います。	総合計画の概要版を市報と一緒に全戸配布することを考えており、市報等でも紹介を行ってまいります。計画期間中においても施策評価結果の公表など、広く周知し、市民とともに、本計画がめざす「日本の心が息づくまち臼杵～「おだやかさ」と「たくましさ」を未来へつなぐ～まちづくりをすすめてまいりたいと考えます。
2	パブリックコメントの広報及び期間について	今回のパブリックコメントの募集期間は11月29日～12月26日という設定であるが、ホームページ上での広報は12月19日になって初めて掲載された。計画の重要性に鑑み、十分な広報と期間が必要と考え、パブリックコメントの期間は延長されるべきと思われる。	募集期間につきましては、11月29日より臼杵庁舎、野津庁舎ならびに臼杵市ホームページにて閲覧できるようにしています。ご指摘のホームページにつきましては、ホームページの仕様上、TOP画面での再表示を行うため、12月19日に再度アップし直したものです。広報期間の延長につきましては考えておりません。
3	P.64 「市内に宿泊した観光客延べ数」について	ものさし名が「市内に宿泊した観光客延べ数(グリーンツーリズムを含む)」となっており、現状が不明となっている。ものさし名を「農泊家庭への宿泊者数」とし、現状と比較できる目標とすべきと思われる。	公助の取り組みの結果、滞在時間の増加をめざしています。グリーンツーリズムのみでは一部の宿泊者数のみであるため、今後市全体の宿泊者数を把握します。また、ものさしの説明については宿泊者数に修正します。
4	P.68 「企業誘致のあり方の検討」について	「野津東部工業用地造成に向けた企業立地ビジョンを策定し早期の造成着手に繋げていきます」とある。企業立地は人口減少に悩む臼杵市にとって最重要課題であることから「企業立地ビジョン」の策定を急ぎ、5か年計画の計画期間内において「造成着工します」とし、造成に着手すべきと思われる。	本市といたしましても、企業立地は人口減少に歯止めをかける最重要課題であると認識しております。「企業立地ビジョンを策定し誘致を促進することで、早期の造成に着手します。」に修正いたします。
5	P.74 「『ほんまもん農産物』と有機農産物」について	「ほんまもん農産物」と有機農産物は似て非なるものであり、「生産戸数」「学校給食での使用割合」「栽培圃場面積」などの指標については、「ほんまもん農産物」と有機農産物は区別して取り扱うべきと思われる。	本市としましては「ほんまもん農産物」ならびに有機農産物、双方の生産拡大をすすめています。「ほんまもん農産物」から有機農産物へ移行するものもあるため、合算での表記としています。

番号	項目	意見	考え方
6	P.87 「学校の適正配置」について	「施策の背景」には少子化を踏まえた「学校の適正配置を検討する必要がある」と記述されている。学校の統廃合についての具体的取組について言及されるべきと思われる。	本年度、各小・中学校の個別施設計画策定や将来的な児童数・生徒数の推計作業等を行いました。これらは、再配置計画検討の基礎資料とする予定です。統廃合につきましては、まず、当事者である子どもや保護者の気持ちを大切に、学校を支える地域住民の意向も踏まえ、基礎資料の活用を併せて、総合的に検討を進めていきたいと考えています。
7	P.88 「学校給食センターの整備に向けた検討」	生徒数の減少が予見されており、臼杵と野津、2箇所の学校給食センターについては早期に統合されるべきと思われる。計画において「学校給食センターの統合に取り組む」とするべきと思われる。	本年度、各小・中学校の個別施設計画策定や将来的な児童数・生徒数の推計作業等を行いました。今後はこの資料をもとに再配置の検討を行うこととしています。その学校再配置の検討を見据えながら学校給食センターの統合についても、検討を行っていきたく考えていますので、現時点において計画に「統合に取り組む」という表現を用いるのは差し控えたいと考えています。
8	P.95・96 「スポーツで健康づくり・体力づくり」	体を動かすことは健康寿命の延伸に効果があると考えられる。また、身近に出かけられる場所に運動ができるような設備があれば気軽に出かけ、運動する習慣の醸成に効果があると思われる。については、市内各所にトレーニング機器を備えたスペースを整備するなどの方策が示されるべきと思われる。	臼杵市では「ひとり1スポーツ」の推進を掲げ、誰もがどこでも手軽に運動できるウォーキングを推進し、環境整備を行います。ご意見にありましたトレーニング機器等の整備につきましては、体育施設の拠点である諏訪山体育館で環境整備を行います。その他の拠点施設につきましては利用状況を踏まえ、施設のあり方について判断いたします。
9	P.103 「臼杵っこガイド」「臼杵っこ学芸員」について	観光ガイドについては、ガイドに案内されて市内を散策した方には大変好評を得ている。臼杵の歴史は重層的でガイドによる解説が効果的である。については、「臼杵っこガイド」「臼杵っこ学芸員」のみならず、大人のガイドの充実についても計画すべきと思われる。	観光ガイドにつきましては、市民団体がボランティアや低額の有料で行っていただいていますので、現時点の公助としては、子どもの郷土愛の育成やコミュニケーションの学びの場として、「臼杵っこガイド」「臼杵っこ学芸員」の育成に力を入れていきたいと考えています。P64のものさし「観光ガイドが案内した観光客数」は大人も子どもも包括されています。「第2次臼杵市観光振興戦略」に基づいて大人のガイドについても充実を図ってまいります。
10	P.104 「『祈りの回廊』構想の実現に向けた検討」	『祈りの回廊』構想の実現に向けた計画を検討します」とされているが、「計画を策定します」とすべきと思われる。	「祈りの回廊」構想につきましては、本市の数ある文化財の中で臼杵市を象徴する代表的な「臼杵城跡」「国宝・特別史跡臼杵磨崖仏」「下藤キリシタン墓地」の3ヶ所を「祈り」をテーマとしてつなぐものであり、観光振興、文化振興などそれぞれの分野における取組を計画し、連携して実行していくものであります。よって、祈りの回廊構想については計画を策定するものではありません。
11	P.106 「各種委員会における女性の登用率」について	「各委員会条例及び規則の委員任命条項等の改正の働きかけを継続する」とあり、目標値(指標)を掲げる必要があると思われる。しかしながら、強制力を伴う条例及び規則に女性の登用率を規定することを働きかけることは行き過ぎと思われる。	男女共同参画の視点を市の各施策・各分野に反映させることが必要と考えております。今後も、審議会等委員への女性の登用を国・県の動向を踏まえ積極的に推進するよう、働きかけていきたいと考えています。

番号	項目	意見	考え方
12	P.111 「臼杵港の整備に伴う広域的な道路ネットワーク」について	「臼杵港の整備に伴う広域的な道路ネットワーク」については課題とされて久しいが、課題解決に必要な取組についての「公助」の具体的な取り組みが計画されるべきと思われる。	公助の項目に「臼杵港の新たな埠頭の整備に伴うアクセスについては、既存の道路を活用した局所的な改良などに取り組むと共に、国・県と連携を図りながら広域道路網の構築に向けて検討を進めます。」を追加します。
13	P.114 「デマンドタクシー」について	「デマンドタクシーの実証運行を踏まえ、より効果的な交通手段を検討します」とあるがデマンドタクシーは臼杵市における公共交通の切り札的手段と考えられ、「デマンドタクシーの実証運行を踏まえ、市内全域において効果的な交通手段の提供を図ります」とすべきと思われる。	デマンドタクシーの拡充については、コミュニティバスよりも経費が増加するため、利用状況を見て判断する必要があります。また現状の運行事業者の体制では市内全域拡充は困難ですので、拡充範囲については事業者と協議を行いながら、今後の施策を進めてまいります。
14	P.114 「中型バス路線」について	「効率的な運行方法を検討します」とあるが「効率的な運行方法にします」とすべきと思われる。	利用促進には関係地域の協力が必要ですので、十分協議を行いながら、地域にあった交通体系を検討して参ります。
15	P.114 「ジャンボタクシー」について	「新規路線の検討を行います」とあるが、ジャンボタクシーによる新規路線を検討するよりも、デマンドタクシーへの移行を検討すべきと思われる。	地域と連携した利用促進協議により、既存のジャンボタクシー路線の利用者は増加傾向であることから、ジャンボタクシー路線も検討の必要性があります。今後も関係地域と密に連携しながら、新規路線を検討していきたいと考えています。
16	P.114 「臼三線をはじめとする幹線路線の維持に向けた検討を行います」について	「維持に向けた検討」とはどのような検討を行うのか示されるべきと思われる。例えば「臼三線をはじめとする幹線路線の見直しを行います」とすれば、バス路線を維持するか(維持できるか)代替交通とすることを検討すると理解されると思われる。	幹線路線については市外への移動手段だけでなく、市中心部への移動手段として車を持たない住民の重要な移動手段となっています。特に臼三線については、臼杵地域と野津地域を結ぶ路線であり、高校生にとっての通学の足となっています。この路線については、重点的に維持することが必要であるので運行事業者とともに維持に向け検討を行います。
17	P.114 「駅舎のバリアフリー化等、利便性の向上」について	「利便性の向上について検討します」とあるが「利便性を向上させます」とすべきと思われる。	利便性を向上させるためには、地域ならびに交通事業者のご理解ご協力が不可欠です。地域ならびに交通事業者と協議を進めながら、検討していきたいと考えています。

番号	項目	意見	考え方
18	P.134 「ごみ処理の広域処理の検討」について	「広域処理が実施されるための検討を行います」とあるが「広域処理が実施されるよう取り組みます」とすべきと思われる。	広域処理整備においては、地元地域ならびに他自治体との調整、協議が必要となるため、十分な検討を行っていきたくと考えています。
19	P.142 「安心生活お守りキット」について	「石仏ネット」と「安心生活お守りキット」は、扱う情報が似通っており統合が可能と思われる。今後の方向性について計画に盛り込むべきと思われる。	「うすき石仏ねっと」は出生から一生涯の健診や受診・薬剤管理などの状況が継続して確認できることにあります。 「安心生活お守りキット」は高齢者が安心して住み慣れた自宅で住み続けられるよう見守り、何かがあった時に情報を活用できることにあります。 目的や対象者が異なる部分がありますので、当面は引き続き両事業をすすめてまいります。まずは災害等の緊急時に備えた部分的な統合について、検討していきたくと考えています。
20	P.151・152 「市政運営を支える基盤の強化」について	今後の5か年の財政運営において、単年度赤字が生じることが予想されているが、持続可能な臼杵市を目指すために、施策の進捗をはかるものさし(指標)として「赤字を解消する」という目標を立て取り組むべきと思われる。	人口減に伴う交付税削減の中、介護、医療をはじめとする市民福祉の適切な水準を維持していくとともに、まちづくりに必要な事業を実施するために、自主財源の確保や有利な起債等を活用し今後も引き続き健全な財政運営をめざします。健全化のものさしについては、他市との比較や財政の弾力性を示すものとして「財政調整基金残高の割合」ならびに「実質公債費率」としました。
21	P.154 「議会ICT化推進(タブレット端末導入)の検討」について	ペーパーレス化による費用削減や各種資料・計画の閲覧が効果的に行われることに繋がるためすぐに実現すべき取り組みと思われ「議会ICT化推進(タブレット端末導入)」とすべきと思われる。	ご意見を参考とさせていただき、市議会内で、先進自治体の事例等を研究しながら、効果的な運用を図るための協議をすすめたいたと考えています。
22	P.154 「議会だよりの発行」について	全国のほぼすべての市町村議会が発行しているいわゆる「議会だよりの発行」について計画すべきと思われる。	現在、市報において年4回臼杵市議会だよりを発行しております。ご意見は市議会でご参考させていただきます。
23	P.154 「議会報告会」について	市民・団体などの意見を把握するため及び議会活動の情報発信のためには、周辺自治体において既に取り組まれている市民を対象とした「議会報告会」について計画すべきと思われる。	現在、市議会の常任委員会を基本とした部会ごとでテーマを決め、関係団体等との意見交換会を行っていきたくと考えています。ご意見は市議会でご参考させていただきます。

番号	項目	意見	考え方
24	まちづくりのアイデア募集	<p>第一章に まちづくりの基本理念は「市民が主役のまちづくり」です。 とありますが、一度市民からまちづくりのアイデアを募集してみるのもいいのではないのでしょうか。 特に題目を絞らなくても良いのですが、例えば、施策の体系図の 15「観光資源の磨き上げと創出」 16「中心市街地活性化」 22「6次産業化の推進」 などに絞って募集、書類選考、良い提案があれば詳細をプレゼンして頂くのも ありかと思えます。そして実現性の高い企画には予算をつけ実行に移す、もしくは提案者自身に実行してもらう。 更に可能であるならば、津久見市のように募集の段階で予算額を示したものに すれば、実現性の高いより良い企画が提出されると思えます。</p> <p>備考 別府市「ONE BEPPU DREAM AWARD2019」 大分県「タートアップウーマンアワード2019」 津久見市「まちづくり推進事業」 私はこれら全ての発表会に出席しましたが、個人や団体が企画を発表でき、それを企業や行政が採用・支援できる体制が整っている点が素晴らしいと思えました。地域活性化のアイデアを募集するにはとてもいい方法だと思います。</p>	<p>本計画の目標を達成するためには、市民と行政が協働で実践することが必要であることを認識しております。ご提案のありました他市の事例を参考にしながら、本市にとって市民参画を促しながらよりよいまちづくりを行っていきたいと考えております。</p>
25	P28 施策の方針 健康寿命の延伸する	<ul style="list-style-type: none"> ・管理栄養士の訪問や歯科衛生士の訪問等も紹介してはどうか。 	<p>各種事業につきましては、市の最上位計画である『総合計画』の内容を踏まえた第2次健康日本21臼杵市計画等を策定し実施していますので、広報媒体等を活用し、広く市民の皆様にお知らせしたいと考えます。</p>
26	P28 施策の方針 自分らしい笑顔輝く人生の自立を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・共生社会ということで、障がい者も高齢者等もともに過ごしやすい社会を入れてはどうか。 ・誰もが安心して暮らせる条例制定を入れてはどうか。 ・障害者差別解消法の啓発を入れてはどうか。 	<p>今後の参考にさせていただきます。 各種事業につきましては、市の最上位計画である『総合計画』の内容を踏まえた臼杵市障がい者計画等を策定し実施に努めています。 その他、既存事業等については、広報媒体等を活用し、広く市民の皆様にお知らせしたいと考えます。</p>

番号	項目	意見	考え方
27	P33 具体的施策 安心して産み育てる支援	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭保育等、子ども子育て課と障害福祉課が同じ予算で対応しているかどうか。 ・ホームスタート、保育コーディネーターの紹介、活用を入れてはどうか。 ・健診や相談会等の紹介、療育の紹介や連携を入れてはどうか。 ・療育等の相談機関窓口を入れてはどうか。 ・ペアレントプログラムの紹介、ペアレントメンターの紹介をしてはどうか。 ・大分県地域療育等支援事業の紹介 ・発達障がいに関する相談先(市内各療育機関やイコールの紹介)を入れてはどうか。 ・児童発達支援センターの整備(ニーズに対して不足していないか) ・放課後等デイサービスの整備(長期休暇の際、利用が可能か) ・発達障がい等の理解促進(法律に基づいて役割を明確に) ・障害のある方が利用する短期入所先が充分にあるか ・地域生活支援拠点事業等の計画 	<p>事業の目的や効果を考え、様々な課が連携して実施することが望ましい事業につきましては、予算の一本化を行い効率的な運用を行っています。</p> <p>各種事業につきましては、市の最上位計画である『総合計画』の内容を踏まえた「子ども・子育て支援事業計画」等を策定し実施に努めています。</p> <p>その他、既存事業等については、広報媒体等を活用し、広く市民の皆様にお知らせしたいと考えます。</p>
28	P39 具体的施策 高齢者の生きがい作りへの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者や障害児、こどもも参加できるサロンも入れてはどうか。 ・サロンで聞かれた相談に対応する体制作り ・人生会議について入れてはどうか。 ・身寄りのない方の把握と支援を入れてはどうか。 ・公助に管理栄養士や訪問看護、訪問歯科による食事相談や指導を入れてはどうか。 ・認知症施策について、意思決定支援の推進を入れてはどうか。 ・市民後見人事業を入れてはどうか。 ・シルバーができる仕事を紹介する広報活動を入れてはどうか。 ・小学校の空き教室を利用して、クラブ活動を行ったり、子どもたちと授業のサポート等で触れ合う。 ・成年後見人制度と市民後見人事業を紹介する。 ・カラフルカフェについて。一法人が受けていますが、基本的には市民の手で行い、そこで出されたニーズを行政につなぐシステムが課題。 ・相談支援事業所に「こころ」を入れる。 ・高齢者が活動に参加できるように、移動システムの計画が必要ではないか。各事業所のデイサービスの車は日中の一定の時間帯は空いているので、移動に活用してはどうか。 ・地域で送迎の有償ボランティアを設置してはどうか。 ・小中学生のクラブ活動に見守り活動を入れて、定期的に家庭訪問やサロンの手伝い等をしてはどうか。 ・保育園、幼稚園での就労、役割を計画する。 	<p>ご意見として今後の参考にさせていただきます。</p> <p>各種事業につきましては、市の最上位計画である『総合計画』の内容を踏まえた臼杵市高齢者福祉計画等を策定し実施に努めています。</p> <p>その他、既存事業等については、広報媒体等を活用し、広く市民の皆様にお知らせしたいと考えます。</p>

番号	項目	意見	考え方
29	P43 具体的施策 障がいのある人の社会参加・就労支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「障がいのある人もない人も安心して暮らせる住み心地一番の臼杵市づくり条例」の文章で、2019年度(平成31年度)は2019年度(令和元年度)にしてはどうか。 ・障害者が日中通う事業所等への移動支援が必要。 ・意思決定支援の整備 ・外出できない方が映像通信ロボットを使って、店内で接客する就労体験を図ってはどうか。 	<p>ご意見として今後の参考にさせていただきます。</p> <p>年度表記につきましては、2019(令和元)年度に修正します。</p> <p>各種事業につきましては、市の最上位計画である『総合計画』の内容を踏まえた臼杵市障がい者計画等を策定し、実施に努めています。</p> <p>その他、既存事業等については、広報媒体等を活用し、広く市民の皆様にお知らせしたいと考えます。</p>
30	P45 具体的施策 生活の安定と自立への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・臼杵市市民後見センターは、生活困窮になるのでしょうか。認知等、自分で判断することが難しい方が主な対象ではないでしょうか。 ・行政の役割として、生活困窮者に緊急に支給できる費用等の計画をあげてはどうか。 ・コミュニティソーシャルワーカーの設置。 	<p>ご意見として今後の参考にさせていただきます。</p> <p>各種事業につきましては、市の最上位計画である『総合計画』の内容を踏まえた臼杵市地域福祉計画等を策定し、実施に努めています。</p> <p>その他、既存事業等については、広報媒体等を活用し、広く市民の皆様にお知らせしたいと考えます。</p>
31	P49 具体的施策 地域交流・地域間交流	<ul style="list-style-type: none"> ・災害避難要援護者の個別支援計画の作成を徹底させ、台帳の整備、防災機関との連携を図る。 ・障害者の避難場所の確保(一次避難から福祉避難所として利用できる場の紹介) ・人工呼吸器をつけている人、吸引を必要とする人への対応。福祉避難所で電源の確保。 ・防災士と福祉関係者による避難場所での生活指導(障害の理解を働きかける) ・重度障害児者の避難演習を行う。 ・障害福祉サービスに関して、サービス等利用計画に災害プランを入れ、作成している事業所に報酬をプラスする。(兵庫県を参考に) ・地域生活支援拠点事業等の計画策定。 	<p>ご意見として今後の参考にさせていただきます。</p> <p>避難訓練等の防災につきましては、Ⅲ-7-12 自主的な防災活動及び防災教育の推進。Ⅲ-7-13防災に関する組織の育成・強化で全般的なことを記載しています。</p> <p>各種事業につきましては、市の最上位計画である『総合計画』の内容を踏まえた臼杵市地域防災計画等を策定し、実施に努めています。</p> <p>その他、既存事業等については、広報媒体等を活用し、広く市民の皆様にお知らせしたいと考えます。</p>
32	P81 具体的施策 乳幼児教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・療育への理解、紹介、啓発活動 ・療育の浸透を図る。 ・子どもに関しては、行政が縦割りではない、統合して事業ができるようにする。未就学児に対して、障害で分けることなく、事業を行えるようにする。 ・ペアレントプログラムの推進 ・保育コーディネーターの活用 ・ホームスタートの充実 ・病児保育を行っている機関の行政サポート ・うすきっこファイルの広報 ・保育所から高校まで、切れ目のない個別支援計画の実施 	<p>子どもに関する事業は、市の最上位計画である『総合計画』の内容を踏まえた、臼杵市の乳幼児期の教育の方向性を示す「臼杵っこ育ての羅針盤」を市内保育所・幼稚園・認定こども園・小学校・関係各課で連携して策定し、協力しながら実施しております。ご提案の事業は、ご指摘の乳幼児教育ではなく、1-1-2子育てしやすい環境を整えるの中の事業として行っておりますので、広報媒体等を活用し、広く市民の皆様にお知らせしたいと考えます。</p>

番号	項目	意見	考え方
33	P91 具体的施策 学校と地域、家庭の連携 の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校への取り組み ・小規模中学校の紹介 ・学校心理士との連携 	ご提案の事業は、市の最上位計画である『総合計画』の内容を踏まえた各個別計画を、関係各課で連携して策定し、協力しながら実施しております。ご提案の事業は、すでに行っておりますので、広報媒体等を活用し、広く市民の皆様にお知らせします。
34	具体的施策 読書のまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館の検討 ・高齢者によるおもちゃ図書館の運営 ・点字図書の充実を図る 	ご意見として参考にさせていただきます。 市の最上位計画である『総合計画』の内容を踏まえた読書のまちづくり計画に添って様々な取り組みを行っており、今後も広報媒体等を活用し、広く市民の皆様にお知らせし、心豊かな「本が大好き、臼杵大好き」な市民の育成に取り組んで参ります。
35	P103 具体的施策 歴史・文化遺産の保存・活用・継承	<ul style="list-style-type: none"> ・臼杵っこガイドは各福祉施設を訪問することはできないか。 	臼杵っこガイドは、古里を深く知り、臼杵に誇りと愛着を持つ子どもを育てることを目的として活動しています。郷土の歴史・文化を直接見て・ふれることで、臼杵の良さを再発見することにもつながります。多くの方が、臼杵の良さや子どもたちの活躍にふれ、癒され・元気をもらう体験につながればと願っています。ご意見については参考にさせていただきます。
36	P129 具体的施策 広報・広報機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・講演等、市のHPで検索しても見つからない場合があります。見つけやすくする必要があります。 	市民が必要とする情報を必要な時に入手できるよう、見やすく分かりやすいHP等の在り方について今後も工夫していきます。
37	P145 安心・安全な消費生活の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットやDMによる対策が必要 	ご意見のインターネットやDMへの対応につきましては、P146課題解決に必要な取組内、消費出前講座等で包括されています。
38	P146 ページの構成について	消費生活問題が次の頁で虐待に関する頁になっており、流れがよくわかりません。	市民一人ひとりが安心安全に暮らせることをめざした、施策の方針「安心安全な暮らしを守り支える」については、「救急態勢・消防力の充実」「防犯・見守り体制の充実」「交通安全対策の推進」「安心安全な消費生活の実現」「虐待(DV・子ども・高齢者・障がい者)予防・対策」の5つの具体的施策で構成しています。この中において、消費者被害と虐待につきましては、相談体制の確立、啓蒙活動の面と共通した取組を行っていることから隣接した構成としています。

番号	項目	意見	考え方
39	P147 虐待予防対策	・医療機関等、各関係機関に発見や疑いがあれば報告を徹底するように伝える。	P148の自助・共助・公助において、必要な取り組みを掲載しております。今後、自助にある「気づいた時は、相談・支援窓口伝えて」いただけるよう周知を図ることを考えております。また関係機関と連携した相談体制の充実の中で包括されています。
40	P151 具体的施策 市政運営を支える基盤の強化	・国や県から市町村に降ろされる事業もあります。また、計画策定年度が決まっているものもあります。福祉予算等、議会も関心を示して欲しい。	議会の役割の一つに行政の事務執行の監視機能及び政策形成機能の強化に努めることがあります。ご意見は市議会で参考にさせていただきます。
41	P50 地域活動を担う人材の確保の課題について	地域活動を担う人材の確保の課題についての取組が研修会、情報提供だけになっています。他に考えは？	少子高齢化、人口減少が進む中、行政だけで解決できるものではなく、より地域で支え合い、助け合う共助を高めていくとともに、地域活動への住民の積極的な参加が必要です。これらを推進していくため、行政は側面的な支援とはなりますが、情報発信や提供については地域活動への住民の意識向上のための啓発や相談対応などの支援も行っています。ご指摘に関しましては、「研修会、情報提供等を行います。」に修正します。なお、P52記載の定住促進の取組は地域を担う人材確保につながるものと考えます。
42	P56 自主防災組織について	自主防災組織の活動支援とあるが、そもそも自主防災組織が機能している集落がいくつあるのか？消防団員の確保もままならない中で、組織の見直しをするべきでは。	自主防災組織は、地域住民が自主的に活動している組織として自治会単位で構成されており、地域に根ざした取組に対し、一番身近で、有効であると考えます。地域の状況に応じた活動を行政として支援していきたいと考えます。
43	P65 サーラ・デ・うすきを活用した賑わい創出	サーラ・デ・うすきを活用した賑わい創出が課題とあるが、その取組として魅力あるイベントを行うだけで可能と考える根拠は？	サーラ・デ・うすきは「居間」としての「憩い」「集い」に加えて、「臼杵の台所」としての「食の情報発信・継承」「チャレンジ」をテーマとした施設であり、イベントをはじめ施設を活用することで交流を広げ、交流人口を増やす役割を担う施設の中心的な1つであると考えます。
44	解決に必要な取組について	全体的に細部まで幅広い総合計画となっているが、現状の職員数(消防署員も含め)で事業が成り立っていくのが不安。自助、共助、公助にもそれぞれ限界がある。そのことを一番に市民へ知らせる基本計画への改定を求めます。課題は見えるが、解決に必要な取組が計画されていません。	総合計画は、臼杵市らしいまちづくりを総合的かつ計画的に市民と行政と協働でおこなうための最上位の計画として策定し、市全体の施策の方向性を示すものです。計画期間に計画が着実に実行されているかどうか進行管理を行いながら、市民の代表で構成する委員会や市民アンケートを通じて、市民への周知や評価をいただきながら取り組んで参ります。